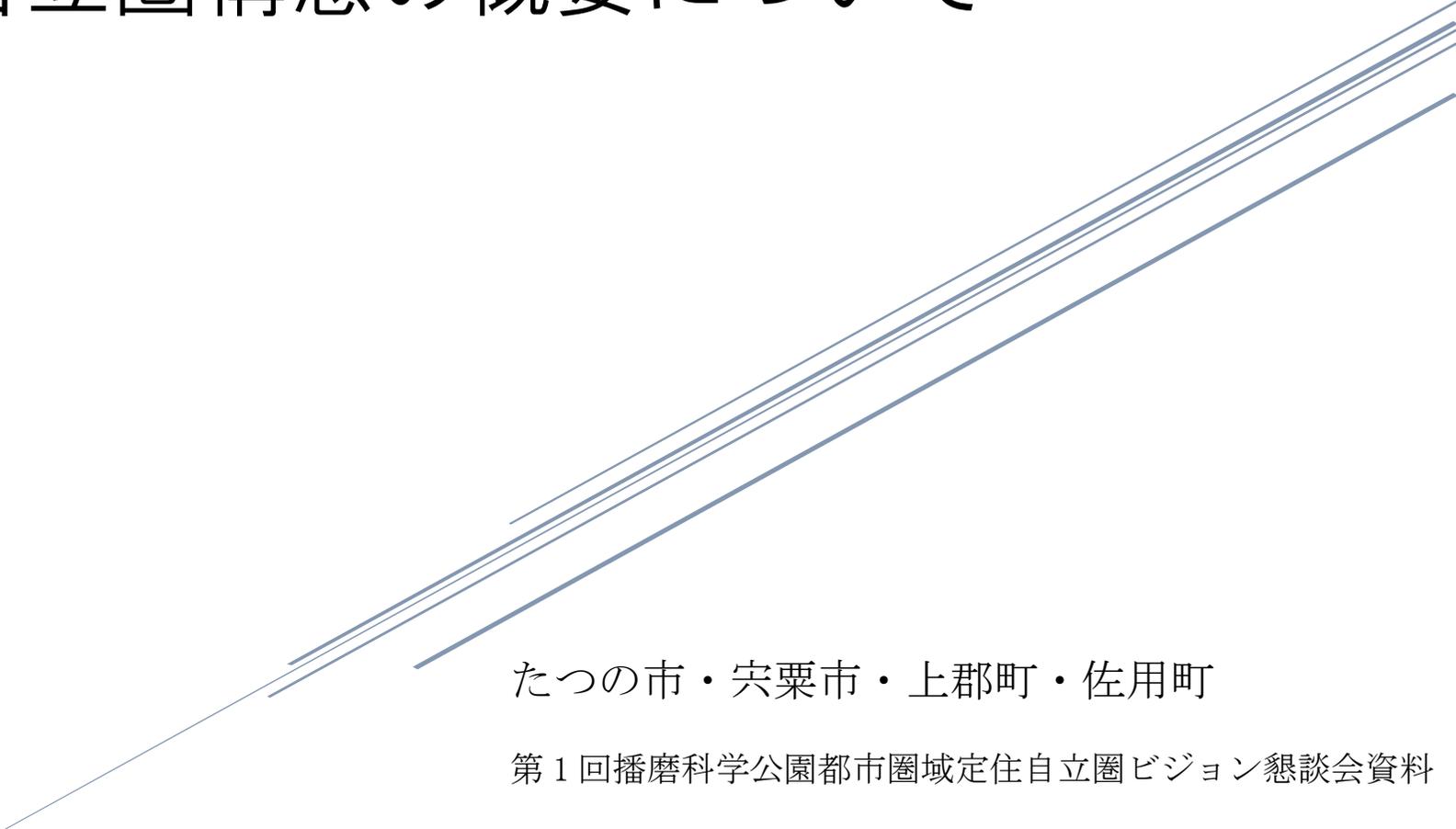


定住自立圏構想の概要について



たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町

第1回播磨科学公園都市圏域定住自立圏ビジョン懇談会資料

1 定住自立圏とは

三大都市圏への人口流出を食い止め、地方圏への人口の流れを創出するため、地方の核となる都市を中心として、周辺の市町と連携し、都市機能や生活に必要な機能を確保して、魅力ある地域を形成していかうとする取組

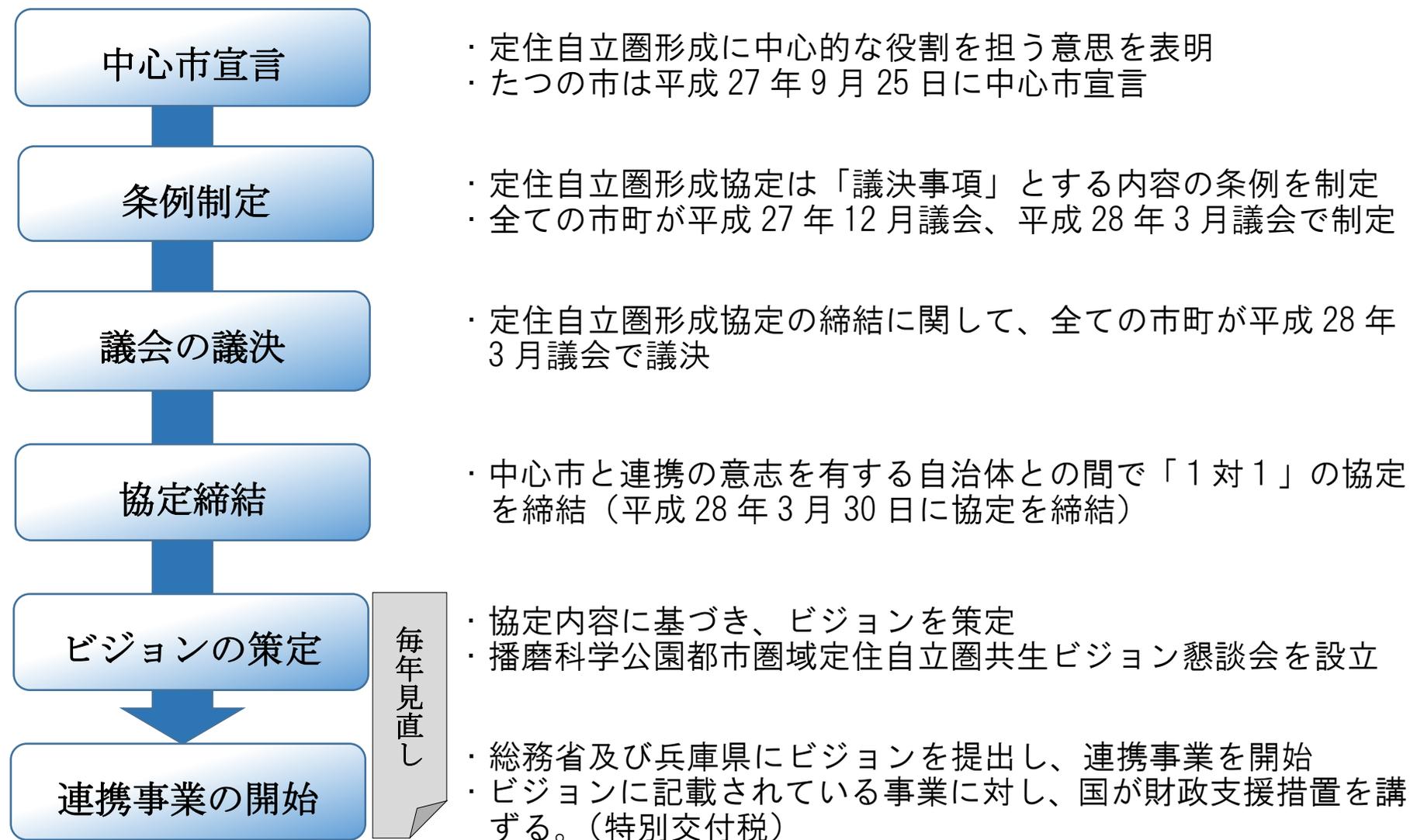
- ◆平成21年に国（総務省）が創設した制度
- ◆法律ではなく、柔軟な運用が可能となる「要綱」に基づく制度
- ◆中心市と近隣市町が自らの意思で圏域を決定することができ、定住自立圏形成協定の締結に関して、各市町議会の議決を経て、圏域を形成することができる。
- ◆平成28年4月1日現在、全国でたつの市を含む127市が中心市宣言を行い、108圏域で定住自立圏が形成されている。
- ◆兵庫県内においては、たつの市を含む6市が中心市宣言を行い、本圏域を含む7圏域で定住自立圏形成協定を締結している。
- ◆本圏域を除く6圏域では、定住自立圏共生ビジョンを策定している。

2 定住自立圏のイメージ

定住自立圏構想推進要綱の概要



3 定住自立圏形成の流れ



4 定住自立圏形成協定 協定項目一覧

生活機能の強化に係る政策分野

政策分野	取組項目	取 組 内 容
(1) 医療	医療圏域体制の充実	地域医療の充実・強化を図るため、医師・看護師等の医療従事者の養成・確保に努め、圏域住民が安心して生活できる地域医療体制を構築する。
(2) 福祉	高齢者・障害者支援及び認知症対策体制の充実	高齢者や障害者が、暮らしやすい地域社会の実現に向け、福祉の充実・強化につながる取組を推進する。また、認知症に関する見守りネットワークの構築や相談体制の充実等、地域支援体制の充実を図る。
	子育て支援体制の充実	圏域住民が安心して子どもを産み育てられる環境を整備するため、子育て支援体制の充実・強化につながる取組を推進する。
(3) 教育	学校教育・社会教育の充実	圏域住民が生涯を通して学べる機会の充実を図るため、社会教育・社会体育施設等の共同利用や、圏域や播磨科学公園都市の特性を生かした交流のほか、文化・スポーツ等、児童・生徒の交流等の取組を推進する。
(4) 産業振興	農林畜産業の振興	圏域内の農林畜産業の担い手や雇用を促進するため、就業及び就学を支援する取組を行い、圏域の人材育成と定住者の増加を図り、農林畜産業の振興を推進する。
	圏域観光の推進	圏域における広域観光を推進するため、広域観光体制を充実・強化し、観光資源の磨き上げとネットワーク化による観光事業の充実並びに観光情報の発信及びセールスプロモーションの強化を図る。
	雇用・企業等誘致の推進	播磨科学公園都市のほか、圏域内の工業団地や低・未利用地、その他空き工場等への企業立地を促進するとともに、ビジネスマッチングや既存企業の育成等による地域産業の活性化と雇用機会の増大を図る。また、播磨科学公園都市内に政府関係機関の誘致を推進する。

政策分野	取組項目	取 組 内 容
(4) 産業振興	地産地消の推進	圏域における地産地消を推進するため、地産地消のネットワークの構築及び地産地消に関する事業を行う。
(5) 環境	環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築	圏域環境への負荷の少ない持続可能な社会を実現するため、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりの取組を推進する。
(6) 消防防災	圏域内防災体制の強化	圏域住民の安全を確保するため、圏域内の防災体制の強化、防災意識の向上に向けた取組を推進する。

結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

政策分野	取組項目	取 組 内 容
(1) 地域公共交通	地域公共交通ネットワークの充実	圏域内移動の利便性を向上させるため、姫新線、山陽本線、路線バス等の利用促進のほか、地域公共交通の充実に向けた取組を推進する。
(2) 道路等交通インフラ	効率的な交通機能のネットワークの形成	効率的な交通機能のネットワーク形成を図るため、圏域内外を結ぶ主要幹線道路や生活道路の整備を推進する。
(3) 交流・定住促進	地域資源の活用による交流・定住促進	圏域内の人口減少を抑制するため、圏域内外の交流人口の増大を図るほか、移住・定住支援を推進する。

圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

政策分野	取組項目	取 組 内 容
(1) 人材育成	地域をけん引する人材の育成及び人事交流の実施	圏域のマネジメント能力の強化を図るため、職員の合同研修会の開催のほか、外部の専門的な人材の活用と人事交流を推進する。

たつので定住自立圏協定調印

人口減克服へ環境整備

たつので、宍粟市と上郡、佐用町の4市町が30日に協定を結んだ「播磨科学公園都市圏定住自立圏」。4月以降、各市町の地方創生戦略と同圏域で取り組む連携事業を車の両輪に、住民が暮らしやすい環境整備を共同で進めていく。

(3面参照)

この日あった協定調印式で、たつのでの市は、国からの特別交付税を基に16年度だけで1億円規模の事業を展開。構成市町が主体的に行う事業には、この中から支援する。同市は当初予算で、連携していち早く取り組む20事業に総額約3800万円を計上。JR播磨新宮駅を結節点とする道路整備▽道の駅連携事業▽医療従事者・看護師の確保対策などを盛り込んだ。たつのでが申請したレジションを策定する。同市が申請を具体化を進め、9月までにレジションを策定する。



定住自立圏の形成協定書に調印を終えた2市2町の首長＝たつので市龍野町富永

たつのでの市は、国からの特別交付税を基に16年度だけで1億円規模の事業を展開。構成市町が主体的に行う事業には、この中から支援する。同市は当初予算で、連携していち早く取り組む20事業に総額約3800万円を計上。JR播磨新宮駅を結節点とする道路整備▽道の駅連携事業▽医療従事者・看護師の確保対策などを盛り込んだ。たつのでが申請したレジションを策定する。同市が申請を具体化を進め、9月までにレジションを策定する。

や学識経験者らによる「共生レジション懇談会」が発足。同市の連携事業を組み込んで施策の具体化を進め、9月までにレジションを策定する。同市が申請を具体化を進め、9月までにレジションを策定する。(松本茂祥)

たつので、宍粟市と上郡、佐用町 定住自立圏で協定

県内7番目

たつのでを中心に隣接する宍粟市、兵庫県上郡、佐用町の2市2町が30日、共同で生活機能の充実を目指す「播磨科学公園都市圏定住自立圏」の形成協定を締結した。定住自立圏に関する協定締結は県内で7番目。昨年9月、たつのでが中心市として「たつので宣言」を各市町議会の議決を得て締結した。

定住自立圏形成で協定

たつので市中心に4市町

定住自立圏の協定調印式で握手を交わす4市町の首長ら＝たつので



たつのでと宍粟市、上郡町、佐用町の2市2町は30日、生活圏をベースにした自治体の広域連携「播磨科学公園都市圏定住自立圏」の形成に向けた協定調印式をたつので市内で行った。新年度の9月までに圏域の将来像や具体的な連携を共生ビジョンでまとめ、産業振興や身近な地域課題の解決などに取り組む

たつので市中心に4市町、宍粟市、上郡町、佐用町の2市2町は30日、生活圏をベースにした自治体の広域連携「播磨科学公園都市圏定住自立圏」の形成に向けた協定調印式をたつので市内で行った。新年度の9月までに圏域の将来像や具体的な連携を共生ビジョンでまとめ、産業振興や身近な地域課題の解決などに取り組む

たつので市中心に4市町、宍粟市、上郡町、佐用町の2市2町は30日、生活圏をベースにした自治体の広域連携「播磨科学公園都市圏定住自立圏」の形成に向けた協定調印式をたつので市内で行った。新年度の9月までに圏域の将来像や具体的な連携を共生ビジョンでまとめ、産業振興や身近な地域課題の解決などに取り組む

たつので市中心に4市町、宍粟市、上郡町、佐用町の2市2町は30日、生活圏をベースにした自治体の広域連携「播磨科学公園都市圏定住自立圏」の形成に向けた協定調印式をたつので市内で行った。新年度の9月までに圏域の将来像や具体的な連携を共生ビジョンでまとめ、産業振興や身近な地域課題の解決などに取り組む